

ベランダデッキ

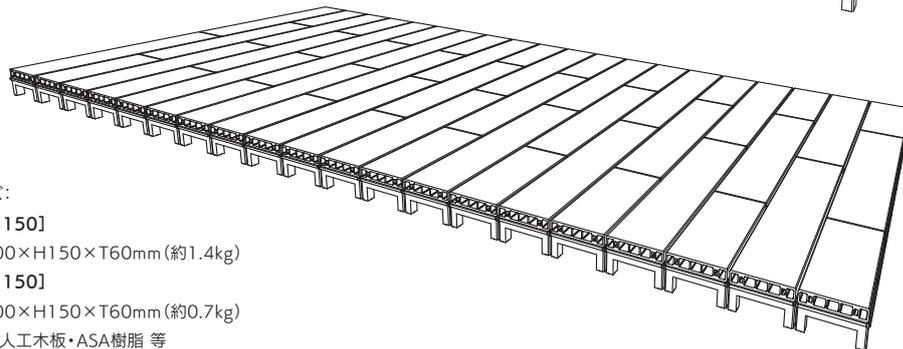
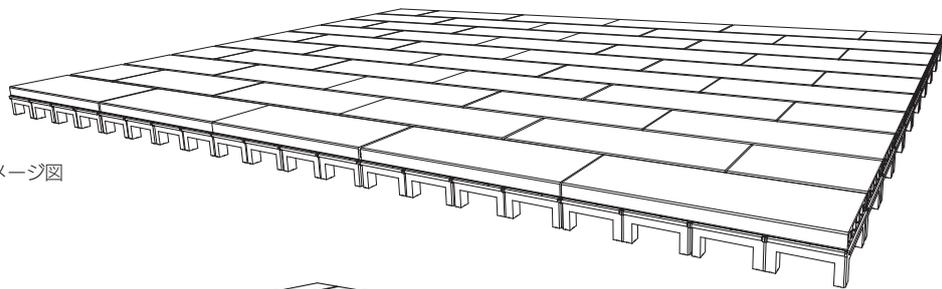
組立て人数



ベランダデッキ600×150 ホワイト
ベランダデッキ600×150 アンバーイエロー

ベランダデッキ300×150 ホワイト
ベランダデッキ300×150 アンバーイエロー

横方向
設置イメージ図



縦方向
設置イメージ図

- サイズ:
[600×150]
約 W600×H150×T60mm(約1.4kg)
[300×150]
約 W300×H150×T60mm(約0.7kg)
- 材質:人工木板・ASA樹脂 等

必ずお読みください! **衝撃厳禁!** **排水注意!** **高温注意!** **強風注意!**

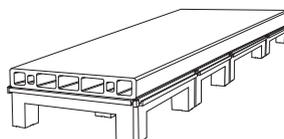
- 製品は重いので、設置前にベランダの構造強度を必ず確認してください。過剰な荷重は構造物の損傷の原因になります。
- デッキやベースの伸縮対策として、壁面から5mm以上離して設置してください。
- デッキの下に砂利や異物があると防水層を傷つける恐れがあります。設置前に床面の清掃をしてください。
- 雨水が流れるよう、勾配(排水方向)を妨げないでください。排水口をふさぐと水たまりや雨漏りの原因になります。
- 組立作業は手袋を着用し、安全に注意して丁寧に作業してください。無理に力を加えたりすると破損の恐れがあります。

使用上のご注意

- ・板の小口部分で手足を傷つけないよう、十分ご注意ください。
- ・直射日光がよく当たる場所は、熱くなることあるため注意が必要です。特に裸足でのご使用は避けてください。
- ・転落事故を防ぐため、デッキ設置で手すりの高さが低くなりすぎないように注意してください。
- ・風圧により本製品が飛ばされ、思わぬけがや周囲の物を破損する恐れがあります。風圧を受ける場所(主に高層の階)または手すりの高さが1.1m未満となるバルコニーには設置しないでください。詳しくはお住まいの官轄の行政機関等に問い合わせてください。

Parts

ベランダデッキ W600
× 1箱(10枚入)



or

ベランダデッキ W300
× 1箱(10枚入)



1

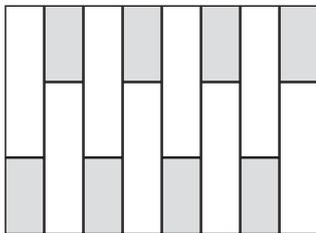
デッキのレイアウトを決めます。

●デッキの配置方向（板目の向き）を決め、敷き始めの位置を決める

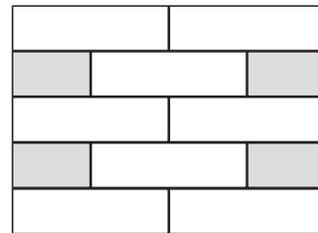
※P.3の配置例を参考に室内側の壁際から敷き始め、排水溝・避難器具を避け配置します。
 ※端から順に敷き詰めると設置しやすく、仕上がりもきれいです。

□ W600 □ W300

縦方向



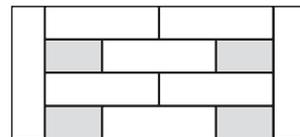
横方向



!
 排水溝や避難器具に
 干渉しないように
 配置する

設置方法を誤ると、
 水たまりや雨漏りの
 原因となるほか、
 緊急時の避難を妨げる
 恐れがあります。

ベランダの形状に合わせ、左右の端は
 縦方向の設置も可能です。

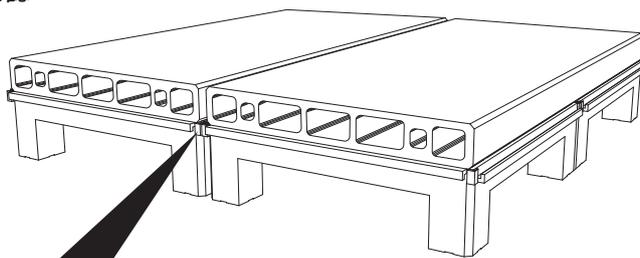


2

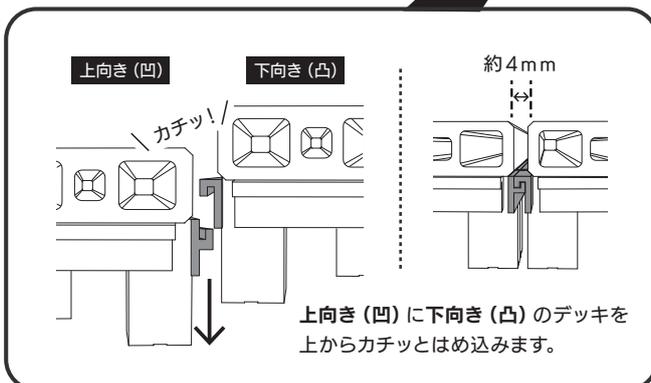
デッキの凹凸にはめ込み、連結していきます。

- デッキの凹部と凸部の位置を確認
- 隣り合うデッキ同士を平らな床面に並べ凹凸をはめ込む

※デッキは一方方向に向かって、
 端から順にはめ込むことで、
 スムーズに取り付けられます。



拡大図



!
 連結時の注意事項

凹凸が完全に噛み合っていないとズレや浮きの原因になります。しっかりはまっているか確認してください。

配置例・はめ込みパターン

ベランダデッキの組み合わせは自由に選べます。
W600とW300を組み合わせることで、購入枚数や設置場所に応じて柔軟にレイアウト
できます。お好みに合わせて配置してください。

【室内側から連結する場合】

横方向の配置順→始点は右[①左へ←、②上へ↑ ※繰り返し]

縦方向の配置順→始点は左[①上へ↑、②右へ→ ※繰り返し]

縦横組み合わせ配置順→始点は左[縦①上へ↑、②右へ→ ※繰り返し／横③右へ→、④下へ↓ ※繰り返し]

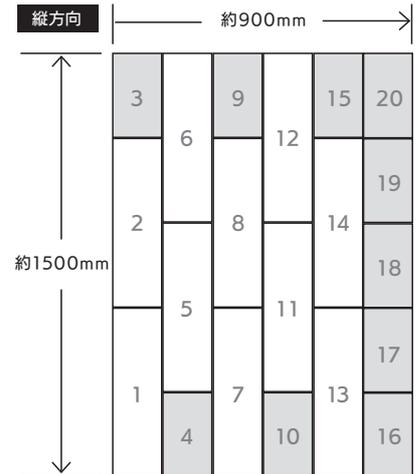
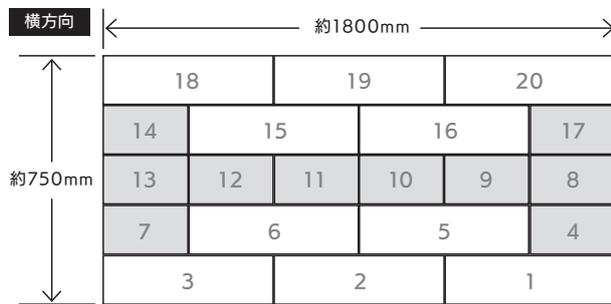
●配置例【縦もしくは横方向】

ベランダデッキ W600×1箱 (10枚)

W300×1箱 (10枚) 使用

約1.35㎡ ※約0.8畳分

□ W600 □ W300



室内側

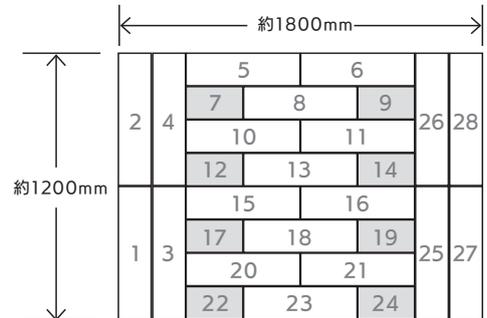
●配置例【縦・横組み合わせ】

ベランダデッキ W600×2箱 (20枚)

W300×1箱 (10枚のうち8枚) 使用

約2.16㎡

端をW300や縦方向・横方向を組み合わせた
きれいに配置することができます。

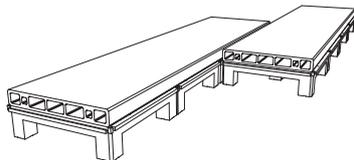


室内側

番号は室内側から連結する場合の配置順です。

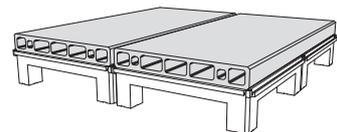
●パターン1

同サイズのデッキをずらしてはめ込み



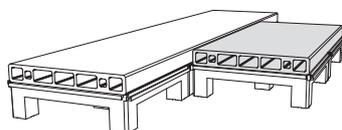
●パターン2

デッキ同志のはしを揃えてはめ込み



●パターン3

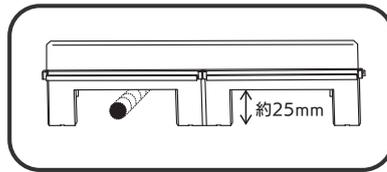
サイズ違いのデッキをずらしてはめ込み



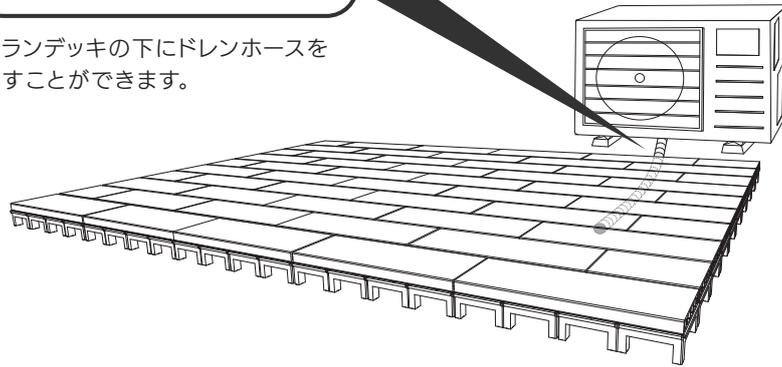
●パターン4

デッキを縦・横組み合わせてはめ込み

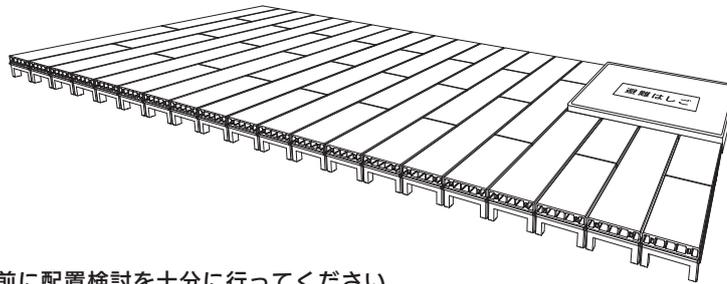
※上記の配置例をご参照ください。



ベランダデッキの下にドレンホースを通すことができます。



避難器具を避けて配置することができます。



事前に配置検討を十分に行ってください。

- ※室外機や給湯器の前に設置する場合、排熱がベランダデッキに直接当たらないよう、風向板などを利用してください。
- ※避難器具や隔板をふさいだり、その上に物を置くことは絶対におやめください。万が一の際に、避難の妨げとなり大変危険です。正しい使い方を守り、安全にご利用ください。

完成図

【注意事項】

- ここに示した注意事項は人身事故や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りくださいますようお願いいたします。記載事項に書かれた以外の使用法や、注意事項を守らずに事故を起こされた場合の責任は負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 製品が破損した場合は速やかに修理してください。破損したまま使用を続けると事故につながる恐れがあります。
 - 製品は、建築基準法の不燃・準不燃・難燃材料ではありません。バーベキュー・ガスコンロ・たき火、火のついたタバコ等、高温になる物や火気を周辺で使用したり、近づけたりしないでください。また、給湯器・暖房器などの排気熱が商品に直接あたる場所には施工しないでください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
 - 腐食性ガス・海水・砂塵の多い場所、または積雪地域では、事前に設置環境を十分に調査し、適切な処置を行ってください。
 - 避難器具の前をふさいだり、避難経路の妨げとなるような設置・使用は絶対におやめください。非常時の避難を妨げる行為は、状況により法的責任を問われる場合があります。
 - ベランダデッキ設置後の手すりの高さが、建築基準法や消防法、各自治体の条例・要綱等の基準を満たしていることをご確認ください。
 - 直射日光によって表面温度が高くなる場合があります。特に夏期は乳幼児が触れないように注意してください。
 - 強風時にデッキが浮く恐れがあるため、風の強い日は注意してください。
 - 配置・解体・メンテナンス時は、デッキの上下向きを確認し、無理に外さないでください。中央部や囲まれた部分も向きを確認し、無理な取り外しは避けてください。
 - 定期的にデッキの下を清掃し、落ち葉・ゴミ・砂などがたまらないよう管理を行ってください。

01

02

03

04

